

2024年5月29日

報道関係各位

バイオジェン・ジャパン株式会社

5月30日は World MS Day
第三回「想いでつながる私の多発性硬化症俳句コンテスト」
応募総数 98 句の中から特選・秀逸作品を発表するオンラインイベントを開催
6月30日(日)16:00より YouTube Live 配信
東国原英夫さんがゲスト出演し、受賞作品を発表

バイオジェン・ジャパン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:傳 幸諭、以下バイオジェン・ジャパン)は、この度、多発性硬化症(MS)の当事者の方、ご家族・ご友人、MSに関わる医療関係者の皆様を対象とした、「想いでつながる私の多発性硬化症俳句コンテスト」において特選・秀逸作品を決定し、6月30日(日)に開催するオンラインイベントで発表いたします。



毎年5月30日は、MSの認知度向上などを目的にMS世界連合と世界各国のMS協会により制定された World MS Day(世界多発性硬化症の日)です。バイオジェン・ジャパンは、MSを一人でも多くの方に正しく理解いただくことを目的に様々な啓発活動を継続的に展開しています。

MSの症状や程度は人によって様々であり、それゆえにご自身の病気や人生と向き合う姿勢や考え方、悩みもまた人それぞれです。そんな多様な向き合い方を「俳句」で表現することで、ご自身が抱く想いに改めて気づききっかけとなり、またほかの方が詠む句の背景にある想いに触れることが、新たな気づきや共感、連携につながると弊社は考え、第三回となる本コンテストを実施しておりました。

3月22日(金)の応募開始から5月19日(日)の締め切りにかけて、計98句の応募がありました。それらの句の中から、第一回選者である夏井いつき先生とのYouTubeも話題の俳人 家藤正人先生より、特選・秀逸作品を選定いただき、6月30日(日)のオンラインイベントにて発表いたします。

また、イベントでは、テレビ番組の俳句コーナーでも活躍中の東国原英夫さんにゲストとしてご出演いただき、受賞句を読み上げていただく他、新潟大学 医歯学総合病院・脳研究所 脳神経内科(医学教育センター) 准教授 河内泉先生をお招きし、作品が生まれた背景となるMSにまつわるエピソードに触れながら、疾患に関する理解を深めるトークセッションなども行います。

【イベント概要】

- **イベント名:** 第三回「想いでつながる私の多発性硬化症俳句コンテスト」受賞作品発表オンラインイベント
- **日時:** 2024年6月30日(日)16:00~17:00
- **内容:** 特選・秀逸作品の発表および受賞作品を軸としたトークセッション
- **視聴方法:** バイオジェン・ジャパン公式YouTubeチャンネルにて配信(無料:どなたでも視聴いただけます)

URL: https://youtube.com/live/vn6_S-7IFU8

(WEBサイト)<https://www.ms-supportnavi.com/feature/world-ms-day/wmsd2024.html>

登壇者:

家藤正人先生

河内泉先生(新潟大学 医歯学総合病院・脳研究所 脳神経内科(医学教育センター) 准教授)

東国原英夫さん(スペシャルゲスト)

[審査員]

家藤正人先生:

1986年生まれ。愛媛県出身。大学卒業後、本格的に俳句に携わる。夏井いつきの句会ライブにてアシスタント経験をつむ。愛媛新聞カルチャー教室、学生を中心として県内外で単独句会ライブも行っている。2016年からは南海放送ラジオ「夏井いつきの一句一遊」にてアシスタントを務め、2019年より南海放送ラジオ「家藤正人『一句一遊』虎の巻」ではパーソナリティを務める。そのほか、松山市公式俳句投稿サイト「俳句ポスト365」初心者欄選者。香川県宇多津町「令和相聞歌」企画参加および選者ほかさまざまな企画に携わる。句集『磁針』(夏井&カンパニー)



【前回(第二回)の受賞者コメントを公開中】

2023年に実施した「第二回想いでつながる私の多発性硬化症俳句コンテスト」で、特選・秀逸を受賞された方々からのコメントを公開しています。2024年の作品発表前にご覧ください。

藤村美来さん:

**辛かった経験があったからこそ今の私がある
俳句も含めて今できることに全力投球の日々**

第一回私の多発性硬化症俳句コンテストで「秀逸」に、第二回コンテストではパラ馬術選手を目指していた頃のことを詠んだ句で「特選」に輝いた藤村美来さん。20年前に別の病気と診断され、多発性硬化症と診断されるまで10年もの時がかかりましたが、その経験があったからこそ今の自分があると精力的にさまざまなことにチャレンジされています。



(記事の詳細はこちら:

<https://www.biogen.co.jp/stories/fujimura-san.html>)

はなゑさん:

飾らず素直に詠めばいい 自分の体験がオリジナリティになる俳句に夢中

2022年に開催した第1回私の多発性硬化症俳句コンテストで、当事者部門で特選に輝いたのはなゑさん。2023年の第2回コンテストでも秀逸に入賞されました。俳句の話に目がきらきらと輝きます。

(記事の詳細はこちら:

<https://www.biogen.co.jp/stories/hanawe-san.html>)



小田桐美穂さん:

17音が頭のなかで映像になる 多発性硬化症のことを知らない人に病氣のことを知ってもらいたい

青森県出身の小田桐美穂さん。地元なら誰もが知っている言葉を季語に、多発性硬化症と診断された当時のことを詠んだ俳句が入賞。大好きなゲームから派生して市民ミュージカルにも取り組んでいた、ダンスとロックが大好きな小田桐美穂さん。17音で次は何を表現しようかと考えをめぐらせているそうです。

(記事の詳細はこちら:

<https://www.biogen.co.jp/stories/odagiri-san.html>)



多発性硬化症について

MSは慢性進行性神経疾患であり、認知機能、心理社会的機能及び身体機能に影響を及ぼし、中枢神経系における炎症、ミエリン破壊、オリゴデンドロサイトの細胞死、軸索損傷およびその後の神経細胞の喪失を特徴とする自己免疫疾患です。MSの有病率は人種間および地域間で差があり、日本における推定有病率は欧米諸国の10%程度と報告されています¹⁾。日本でのMS患者数は増加傾向にあり²⁾、罹患率は10万人当たり10.8~14.4人と報告されています³⁾。

MSは、手足のしびれ、感覚機能や判断力の低下など患者さんによって症状が多様で診断が難しく、疾患としてもまだまだ理解が進んでいないのが現状です。2017年にバイオジェン・ジャパンが「全国多発性硬化症友の会」と共同で実施した調査⁴⁾によると、最初にMSと思われる症状が現れてから、確定診断されるまでに平均3.7年、3つの医療機関を受診しているということが示されました。また、一見しただけでは病氣であるとわかりづらいため、周囲の理解が得られず、就労や日常生活で困難が強いられることもあります。

バイオジェン・ジャパンは、MSとともに生きる方々を中心とした疾患啓発活動を通じて、一人でも多くの方にMSという疾患について、また当事者の方々が抱えている課題を知っていただくことで配慮や支援につながり、MSになってもその人らしい生き方ができる社会づくりの一助となることを願っています。

バイオジェンについて

1978年の創立以来、バイオジェンは世界をリードするバイオテクノロジー企業で、患者さんの人生を変革し、株主や私たちのコミュニティに価値をもたらす新薬をお届けするために革新的なサイエンスを開拓しています。私たちは優れた治療アウトカムをもたらすファースト・イン・クラスの治療薬や治療法を推進するために、人類の生物学に対する深い理解を応用し、異なるモダリティを活用します。私たちは長期的な成長をもたらすために投資利益率のバランスを考慮した上で、果敢にリスクを取るというアプローチを採択しています。

投資家の皆さんにとって重要な情報についてはバイオジェンのウェブサイト www.biogen.com に定期的に掲載しています。当社の SNS 媒体 [Facebook](#), [LinkedIn](#), [X](#), [YouTube](#) もご覧ください。

バイオジェン・ジャパンは、米国バイオジェンの日本法人です。世界で有数の歴史のある独立系バイオテクノロジー企業の日本法人として、日本では 2000 年より事業を展開しています。日本の患者さんにも革新的な医薬品やより良い治療環境を提供すべく活動を展開しています。

バイオジェン・ジャパンに関する情報については、<https://www.biogen.co.jp/>、および SNS 媒体 [Facebook](#), [Twitter](#), [Instagram](#), [YouTube](#), [LinkedIn](#), [LINE](#) をご覧ください。

1) 堀内泉, 吉良潤一. 多発性硬化症. 田村晃, 松谷雅生, 清水輝夫編. EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針. メジカルビュー社; 2002:276-79

2) 公益財団法人難病医学研究財団: 難病情報センター 特定疾患医療受給者証所持者数 <http://www.nanbyou.or.jp/entry/1356>

3) Kinoshita M, Obata K, Tanaka M. Latitude has more significant impact on prevalence of multiple sclerosis than ultraviolet level or sunshine duration in Japanese population. *Neurol Sci.* 2015;36(7):1147-51.

4) バイオジェン・ジャパン株式会社 多発性硬化症の患者さんの実態調査 (2017年5月30日発表)
https://www.biogen.co.jp/ja_JP/news-insights/japanaffiliatenews/2017-05-30-news.html

報道関係者お問合せ先

バイオジェン・ジャパン株式会社

広報・CSR 本部

本部長 三井 貴子

TEL : 03-3275-1745 Email: Japan-PA@biogen.com

携帯: 070-1501-4315

Biogen-242344